

霧島山（新燃岳）火山噴火 過去の噴火事例

新燃岳での本格的噴火（過去の噴火事例）

年	月日		発生状況など
1716(享保元)年	3月11日	噴火	2ヶ所から噴火。噴火は水蒸気爆発。
1716(享保元)年	11月9日	噴火	周囲15km の地域内の数ヶ所から噴火。火砕流が発生。 死者5名、負傷者31名、神社・仏閣消失、消失家屋600 余軒、牛馬405頭死。
1717(享保2)年	2月7日	噴火	2月7～10日までの4日間続く。
1717(享保2)年	2月13日	噴火	9時から12時にかけて噴火が発生。 その間に付近の田畑が粗粒火砕物で、10～20cm 埋まる。 2月17～21日まで連続して、高温の火砕物の降下。
1717(享保2)年	9月19日	準プリニー式噴火	火砕流発生。1716年3月からの噴火で最大規模。
1959(昭和34)年	2月17日	噴火	14時50分に爆発的噴火が発生。 火口の西北西約3km にある警察無線中継所が被害を受けた。 宮崎県小林市、高原町、鹿児島県霧島町では噴石、降灰多量、森林、 耕地、農産物に被害大。



1959年(昭和34年)噴火



1991年(平成3年)噴煙